今からできるサツマイモ基腐病（もとぐされ）対策

9月は、サツマイモ収穫の最盛期を迎えます。サツマイモ基腐病対策の基本は、「増やさない」「残さない」「持ち込まない」の3つの対策が大切です。

今からできるサツマイモ基腐病対策を次のとおり紹介します。

・増やさない（早期収穫）

感染発生後、早期収穫することで被害を最小限に抑えましょう。

基腐病が発生したほ場

・残さない（感染したイモの処理）

感染したイモは次作で感染源とならないよう、ほ場外で処分しましょう。

持ち出せない場合はロータリーで漉き込み、分解を促しましょう。

※地温が高いと分解が促されるため、収穫後速やかに行いましょう。

感染したサツマイモ

・持ち込まない（種イモの確保）

収穫時に健全に見えても、貯蔵中や伏せ込み後に発病する可能性があります。種イモは必ず未発生ほ場のものを使用しましょう。

○貯蔵中の発病リスク軽減方法

①水で洗い、イモの表皮の変色や異常を確認し、選別を行いましょう。

②病害が発生しやすいイモの両端（なり首と尾部）を切除しましょう。

③トップジンM水和剤を200倍に希釈した液に30分間浸漬した後、十分に乾燥させましょう。

※農薬を使用する際は、必ずラベルにある注意事項を守りましょう。

問い合わせ先
役場農政課農政係
☎(86)1136［直通］

「サツマイモ基腐病対策」の情報を発信しています。詳しくはこちらから。

就業構造基本調査を実施

就業構造基本調査とは、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、10月1日現在で実施する、国の重要な基幹統計調査です。

調査の結果は、雇用政策、経済政策など国や地方公共団体における各種行政政策の企画・立案のための基礎資料として活用されます。

町内の調査対象は15歳以上で、諸浦・鷹巣・川床・平尾・城川内地区に住まいの約280世帯、約600人です。詳しくは、問い合わせください。

安心して働ける明日へ。
就業構造基本調査

問い合わせ先
役場企画財政課統計係
☎(86)1134［直通］

「就業構造基本調査」について紹介しています。詳しくはこちらから。